



2009～10 年度  
国際ロータリー会長  
ジョン・ケニー

# Weekly Report Niigata



2009～10 年度  
新潟ロータリー会長  
小林 敬直



ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 4月第1例会 (2010.4.6) No.2843

- (1) 「君が代」 斉唱  
ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱
- (2) 小林 敬直会長挨拶

## 「稲むらの火」

3 月にチリでの大地震にともない、日本沿岸に「TSUNAMI」が襲来しました。その時に思い起こした話があります。ずっと前に NHK の子供番組でみた「稲むらの火」という話です。

あらすじは、江戸時代大地震がある村をおそいます。その時に村の長が、津波が来襲することを村人に伝え、収穫したばかりの稲に火をつけ目印にして、村人を救ったというお話です。時は幕末、安政元年(1854)末のこと、紀伊半島沖を震源地とする「安政南海地震」が発生。マグニチュード 8.2 と推定されていますが、紀伊半島西岸は地震そのものよりも津波による被害が甚大でした。

この時、紀伊和歌山藩有田郡広村では、当地在住の濱口梧陵(七代目儀兵衛)が住民救援のために死力を尽くして奔走するのです。

その崇高な行為は人々の感動を呼び、のち小泉八雲ことラフカディオ・ハーンが著した『生神様』を通じて広く紹介され、また戦前の小学国語読本に「稲むらの火」と題して、五兵衛の名で取り上げられています。

では、濱口梧陵とはいかなる人物だったのか、その生涯を辿ってみましょう。そもそも濱口家は、元禄時代に千葉県の銚子で醤油の醸造業を始め、ヤマサ醤油を興した一族です。冒頭の安政南海地震では、梧陵は、地震発生と同時にただちに行動を起こします。まず押し寄せてくるであろう津波に備えて、老人や子供、女性を当地の広八幡神社の境内に避難させました。そして一夜を明かした人々は無事を喜び合い、全員自宅に戻りました。ところが、安心したのも束の間、午後になって事態は急変します。再び巨大な地震が発生。それは前日の比ではありませんでした。はたして恐ろしい津波が襲ってきました。この時も梧陵は救援の陣頭指揮をとります。逃げ遅れた住民を助け、避難させていましたが、みずからも津波に吞まれて流されたのです。流されながらも、どうにか丘の上に泳ぎ着いて難を逃れたといえます。

暫くして日没を迎えました。多くの人々は前日同様神社の境内に避難していたものの、いまだ行方不明の者もいました。そこで、梧陵は闇についての救出活動に立ち上がったのです。

この時です、救援部隊十数名を率いて道ばたの稲むらに火をつけていきました。漆黒の闇の中で逃げ遅れた人々を安全な場所へ誘導する目印とするためでした。この稲むらの火のお陰で実際に九名もの命が救われています。その後 梧陵は、この地に防波堤を築造します。その堤防は、大正 12 年と昭和 21 年の津波を防いでいます。そして、明治元年には紀州藩勘定奉行に、明治政府では郵政大臣に、そして和歌山県議会議長となり明治 17 年、米国へ海外視察の際、ニューヨークでなくなっています。「稲むらの火」は今日でも我々の胸を打つ逸話です。一方、濱口梧陵の実際の人生も、見事としか言いようのないほどの感銘を我々に与えてやみません。

- (3) ハイチ・チリ地震募金のお願い(石井 和弘幹事)  
合計71000円の義捐金を頂き、クラブより29000円支出し、50000円をR財団を通してチリへ、50000円を赤十字を通してハイチへ送金します。

## (4) 新会員の紹介

アイリテック(株)  
代表取締役 細野 義彦

出席委員

この度、石本隆太郎さん、白勢仁士さんのご推薦により、入会致しましたアイリテックの細野義彦です。伝統ある新潟クラブのメンバーとして、お仲間に入れて頂き、感謝致して居ります。1941年新潟市の生まれ、現在青山駅の近くに住んでおります。30年近く、東京と海外を拠点にビジネスを展開してきましたが、そろそろ仕上げの段階と考え、新潟での生活をしようとして、東京での仕事は週2～3日に限定、自宅庭の一部に家庭菜園を作り、ゆったり過ごしています。仕事は、バイオメトリックス(生態認証)で尤も高度と言われている虹彩認証を米国中

心に手掛け、米国入国審査に虹彩認証が加えられる事やインド政府が住民登録の為の ID カードに虹彩の要素を取り入れること等々、フォローの風を感じているところです。今後は、地域に対する貢献と友人作りに注力したいと思っております。諸先輩のご指導よろしくお願ひ申し上げます。

#### (5) 幹事報告(石井 和弘幹事)

- ・前橋クラブ観桜会にご出席の方は13:40 イタリア軒前よりバスが出發します。
- ・糸魚川中央ロータリークラブ創立30周年記念式典が6月6日 ホテル糸魚川にて開催されます。「ロータリー山の会」が5月29日に開催されます。いずれも詳細、お申し込みは幹事か事務局へお願ひ致します。

#### (6) 創立70周年記念式典について

#### 4月6日 理事会報告 出席者 10名

- 1 新会員審査=承認  
㈱損害保険ジャパン 執行役員新潟支店長  
福島 晃君
- 2 チリ、ハイチ地震義援金について  
4月6日の例会会場内にて寄付を集めることで承認された。チリ地震分についてはロータリー財団、ハイチ地震分は義援金を受け付けている団体に送金することで承認された。
- 3 石本隆太郎ガバナーノミニーより  
ガバナーノミニー事務所立ち上げの経費負担のために、新潟RCの特別会計のガバナー活動資金を一時流用することについて石本ガバナーノミニーから提案説明があり、ガバナー活動資金を一時流用する件について承認がなされた。
- 3 70周年記念式典について  
記念例会・記念祝賀会の内容について小林悟70周年副実行委員長より今例会に説明があること、4月20日の例会終了後。卓話の時間に直前打合せを行う旨説明があった。
- 4 福地 利明国際奉仕担当理事より  
香港島東RCとのこれまでの交流の概要について、取り纏めをしたこと、またこの資料を事務局に保管する事が報告された。
- 5 4月のプログラムについて=承認  
4月=雑誌月間  
4月 6日 創立70周年記念式典について  
4月13日 卓話 新潟市ユネスコ協会  
副会長 小野沢 裕子  
4月20日 創立70周年記念式典について  
4月27日 振替休会
- 6 ガバナー表彰について  
ガバナー表彰について推薦できる方がおられたら事務局もしくは幹事まで連絡頂きたいと連絡があった。

ホームページを更新致しました!

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

\*新潟ロータリークラブ創立70周年記念式典\*  
2010年4月23日(金)